

## ★違っていたこと

### 山口久美

世の中に広く伝えたい！伝えなければ！と行動している人と  
自分の仕事（問題など）に集中していたら社会から注目された人  
当事者か支援者か

### 田口智恵子

厚労省の情報は正しいと思っていたが、必ずしも正しいわけではないということ。  
メディアの方に踊らされているなど、本当の真意をつかめるように、何か裏があるのではな  
いか、と考えて行動していかなければならないなと思いました。

### 吉田由美

立場

### 安部裕則

私が感じた違っていたことは、

1. 仕組みを作り、運営する側に近い人と、当事者
2. 専門分野や生活フィールド

### 藤原瑠美

人生の具体的な目的がまず違います。人との関わり合いが親密であるか、社会との関わり方  
も違います。石田先生や保坂先生、山崎先生のようにリーダーシップをとるか、取らないか  
の違いがあります。多くの人に文筆を通してかかわられたのは鈴木先生でした。一方、中村  
先生のように WHO/福祉的な方は他にはいませんでした。市原先生は宮崎から、日本全体  
にホスピスの運動を広めた方も比類ない活動だと尊敬します。

### 神保康子

得意や自分らしさを生かしていた、その具体的な方法（得意なところと自分らしいところ）  
が違っていました

### 大沢理奈

七海先生に起きている HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）の副反応の多彩さに驚きでし  
た。

### 渡邊怜子

ぶつかった壁はそれぞれ違っている。  
当事者であったり、支援者であったり、さまざまな立ち位置で話されている。

## 北沢日炉未

- 日本の中から攻めるか、海外から攻めるか
- 専門職としての疑問や憤りからか、一般の人や当事者としての疑問や憤りからの出発か
- 行政をうまく巻き込んでいるか否か
- 活動の資金力（想像の域ですが）

## 美馬達夫

この質問で止まってしまいました（返信遅延の言い訳です）。

回答困難で、「みんな違ってみんないい」になってしまいます。

講師の皆さんの「多様性」にはビックリしますし、ゆき先生が、これほどまで多くの「多様性の人々」とつながっていることにも驚愕です。

## ★見習おうと思ったこと

### 山口久美

変化や違いに柔軟に対応していく姿勢と、何があっても倫理観を曲げない信念。

### 田口智恵子

ゲスト講師に対する、ゆきさんの心遣い。いつもビデオ聴講でしたが、ゆきさんの講師の方と聴講者に対する心遣いが、感じ取れ、見習いたいと思いました。

### 吉田由美

行動力

### 安部裕則

自分が出会った人や出来ごとから感じ取ったことを受け止め、自分でどうしたいかを考え、文字にして、行動にしていきたい。

私は高齢介護を仕事にしています。

1999年からこの仕事に就きました。その当時の高齢者介護は介護職を寮母と呼んでおり、6人部屋の多床室が一般的でした。定時のおむつ交換から随時のおむつ交換へ変更するのに議論し、食堂に出て食事をする離床運動が定着しかけていたころでした。

毎日お年寄りの下の世話、お風呂の介助、食事介助をしながら、「なぜ、このように人らしくない状態になってしまうのだろう。」と考えさせられました。

冷めた食事を当たり前のように配膳し、お年寄りと同じ食事を食べる「検食」はじゃんけん で負けた人が罰ゲームのように食べていました。今考えれば、このような介護をしていたことを深く反省しています。

頻発する介護事故を経験し、思い切って機械浴を全廃して家庭的なお風呂に入ってもらふこ

とに取り組みようになってから、お年寄り自身が変わっていききました。

今は、当たり前のように全員トイレで排泄して、自分の主張をし、おいしいご飯を一緒に食べて、たまには笑顔で外出するようになりました。考え方と介護の方法を変えるとこれくらい人が元気に最後まで生きれるのかと感じる毎日です。

昨日も、定期巡回を使っている97歳のおばあさんが「私は、こんなに毎日介護士さんと看護師さんに来てもらって安心です。100歳まで生きれそうです。」とい顔で話してくれました。

世間ではまだまだ、介護保険が始まった2000年当初と変わらない介護をしている施設も多いと聞きます。今回の皆さんのお話を聞いて勇気をもらいました。自分でできることを考えて、行動したいと思います。

### 藤原瑠美

具体的に見習えることは今からではとうてい叶いませんが、個人的に振り返ると、夫の死を心の中で消化して自分のこれからの残り少ない人生に、多少なりとも社会で役に立つことを考えたいと願うようになりました。

### 瀬戸山陽子

大変な状況にある場合でも、悲観だけでなく前に進み、ご自身のことや社会のことを周りに伝えるパワーを持っていること。強く、しなやかであること。

どこか明るさ・希望を感じさせてもらえること。

(僭越ながら講師を務めさせていただいた自分が、他の方のお話を伺って、そうありたいと思ったことです。なので、「★見習おうと思ったこと」かもしれません。)

### 神保康子

湧き上がる思いに忠実なところ

### 大沢理奈

泣き寝入りしない。間違っただけには、反旗を翻す。権利は守られるべきものであること。そのためには、権利は主張して然るべきということ。

### 渡邊怜子

ポジティブさ

反対の意見／違う意見も聴く力

交渉する力

### 北山ユリ

行動することを見習いたいと思いましたが、私にはそれができませんでした。

### 北沢日炉未

- 困難に目をそむけず、ときにへたれても自分の思いや活動を継続すること
- できる限り客観的にも物事をみること
- おかしいと気づくアンテナの感度を上げる

### ★特に感動したこと

### 山口久美

ぬっきーさんからのメールのお返事  
七海さんの強さ  
全部の回でレポートを出せたこと  
当選作に選んでいただいたこと

### 鶴巻香織

私は元来レポートを書くことが苦手としていたのですが、  
「講師の先生に感謝の思いを届けよう」という思いで書いてみると毎回スラスラと一気に書き上げることができました。  
改めて講師の先生たちの力はすごいなと思いました。

### 田口智恵子

鈴木先生や、貫田先生、七海先生など、障害があり当事者でありながら、講義をしてくださいました。また講義内容や資料も素晴らしく、感動いたしました。  
特に、高次機能障害やレビー小体型認知症を患っておられるのに、その発症の仕方や対応の方法までご教授くださり、今までそのような講義は受けたことがなかったので、大変、感動いたしました。病院に入院中の患者さんに活かしていいこうと思いました。

### 吉田由美

当事者の方の声。私には偏見があった事に気付かされましたし、見方がかわりました。

### 安部裕則

今回特に感動したことは鈴木大介さんのお話を伺うことができたことです。「脳が壊れた」を拝読し、脳血管障害の当事者感覚を教えてもらい、その後のケアが激変しました。お話を聞く機会を探していて今回の講座で思いもよらず出会えて感動しました。  
また、ほかの講師の皆さんの初めて聞く世界のお話しにも刺激と衝撃を受けて、今は、自分のこれからの過ごし方を考えさせられました。

### 藤原瑠美

毎回感動していました。

### 神保康子

みなさんに共通していた

声を挙げる勇気、枠を超える勇気。

七海さんが、命がけで講義にやってきてくださったこと。

### 大沢理奈

中村先生と山崎先生がされてきた事。お二人は小児科と老年科ということで、人の「最初と最後」を診てこられたという点では真逆ですが、心に残りました。

### 渡邊怜子

発想のユニークさ

行動につながっていく熱い思い、出来事、人物との出会い

乗り越える力

### 北沢日炉未

・会場で直接お話を伺ったからもありますが、『「脳コワさん」支援ガイド』の著者の鈴木大介さんと子宮頸がんワクチンで薬害当事者の酒井七海さんは、体調が安定せず、ご自身の体力の限界が超えつつある中で、時間いっぱい講義してくださったことは、本当に感謝の気持ちしかありません。

・昨年度は、ほとんど講師の先生方からお返事はありませんでしたが、今年度は多くの先生がコメントを寄せてくださり、中には個人個人にメッセージを送ってくださる講師の先生もいらっしゃったこと

・ジャーナリストの方の仕事の仕方や仕事に対する考え方

### 美馬達夫

「共通していたこと」で記しました、ぶれない継続性です。私に欠けていることです。